



カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO認定機関からのお墨付きをもらっている。			3.9			6	7					12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】会社案内にて環境の取り組みについて正しく公開していく。												12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】グリーン電力の使用等に取り組んでいく。							7.2						13							
21		【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】認証製品等の利用を進めていく。												12.2	13	14	15					
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	取引先とのガイドラインに則り、絶対に汚職が発生しないよう厳重に注意している。また行動規範を設け、社内に浸透を図っている。																	16	16.5		
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	取引先とのガイドラインに則り、お客様に対して適切ではない契約が行われることが無いよう高い倫理観を持って厳重に注意している。																		16		
24		【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産の侵害に当たらないか、社内での厳重なダブルチェックを行っている。									8.2	8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本	「特定個人情報等管理規程」「情報セキュリティポリシー・アクセス制御要綱及び付随する各種マニュアル」を設け、データが外部に漏れないようパソコンの管理と外部での利用に関するルールを設けている。																			16	
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物の取り扱いはない。																			16	
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・ 取引先からのアンケートに回答している。 【予定】取引先企業に向けてアンケート等の実施により、実態を把握しながら、同時にSDGsを推進していく。					5				8			10	12	13	14	15	16	17		
28		【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	取引先や保険会社等を通じて自社製品の提供や使用時に想定されるリスクを洗い出し、対策を実施している。			3.9										12.4							
29	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している。											9										
30	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後、開発を進めていく。							6						12	13	14	15					
31	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	自社のシステムを通じて、全員が活躍できる包含性のある社会を目指している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																									
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域に根ざした企業を目指し、地域活動への参画を行っている。				4							9		11	12		14	15		17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】地域の防災活動に参画する。				4										11			14	15		17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域発祥の商品や地元企業のサービスを積極的に利用している。											8	9		11	12	13					
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	企業理念を掲げ、適宜見直しを行い、従業員へ周知徹底している											8	9								17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンスを優先し、コンプライアンスを推進する責任者を選定するとともに、コンプライアンス態勢の確保に努めている。																				16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	各部門に責任者を配置し役割を明確にすることで体制を整備している。																				16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーと継続的に対話し、お互いの信頼を築いている。																				16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	保険会社と協業し、事業運営上考えられるリスクを想定し、不測な事態が発生した際に対応できるよう体制を整備している。																				16	
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】社会貢献を企業理念に記載し、地域活動に積極的に取り組んでいく。																				16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】事業継続力強化計画の認定を進めていく。												9		11		13	13.1		16		
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】今後の社内役員を検討している。											8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）